

令和4年度 事業計画

I 基本方針

長期化している新型コロナウイルス感染症の影響により、利用客が大幅に減少したことに加え、原油の高騰を筆頭とした物価の上昇など、財団の事業、運営は非常に厳しい状況にあります。

このような状況の中、経費削減の徹底、各種支援策等の最大限活用等の取り組みを継続したことにより、令和3年度での債務超過解消の目途が立ちましたが、財団存続に向けて、コロナ収束後を見据えた更なる事業の見直しをする必要があります。

このため令和4年度は、引き続き徹底した経費節減を図るとともに、収入の最大化を目指し、施設利用のあらたな提案、商品開発に努め、これまで以上に収益性を高めた事業展開をいたします。

II 具体的な取組

令和4年度は、札幌市による、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種会場や保健所患者搬送班のほか、札幌市就業サポートセンター等の就労支援事業の利用が予定されています。

財団としては、これらの事業に協力しつつ、その他の会場の効率的な販売、ホール、プールなど公益的部門の安定運営に努めます。

各部門の見通しとしては、コロナ禍以前の規模での利用は期待し難く、当面は感染拡大防止策を講じた上での少人数利用が続くものと見ています。

このような状況を踏まえ、各部門の傾向、並びに目標は下記のとおりです。

※ 達成率は、過去5年(コロナ禍以前=H26~H30)平均との比較

部 門	計 画	概 要
プール	利用人数 59,800人	現在、コロナ禍前と比較して(1月比較)、水泳教室の会員数が約81%、一般開放は約45%の利用状況です。会員の欠席率も高く、一般開放利用者の利用も伸び悩んでいることから、約72%の達成率を計画としました。
ホール	利用件数 145件 利用区分数 346区分 利用人数 36,900人	主催者と協力し、感染症対策徹底の上、利用促進に努めます。収容人数制限撤廃の動きとなっておりますが、まだまだ、需要回復は望めません。件数で約70%の達成率を計画としました。
文化教室	利用人数 21,600人	休講や欠席者の多い動きとなっておりますが、感染症の影響が小さい部門となっており、教室数及び受講者数としては、ほぼコロナ禍前の水準を維持しています。感染症の予防策を徹底の上、利用維持、向上に努め、約95%の達成率を計画としました。

部 門	計 画	概 要
会議・研修	利用件数 3,550件 利用人数 81,700人	2階全フロアを使用するワクチン接種会場などの札幌市の利用を含み、件数で約150%の達成率を計画としますが、札幌市以外の利用としては、大きく回復は見込めず、小規模、少人数化していることから、約84%の達成率を計画としました。
宿泊	客室稼働率 39.4% 利用人数 9,705人	ビジネス需要は堅調であり、その他の需要はGOTOトラベルなど支援策の効果も期待されますが、厳しい見込みです。多少動きの出てきた、サッカー協会や高体連などのスポーツ大会関係の取り込みに努め、利用人数で約47%の達成率を計画としました。
レストラン	利用人数 52,822人	感染症の動向を踏まえ予防策を徹底した営業に努めます。ランチタイムは、徐々に回復しそれなりの収入も見込める状況となっています。アルコールの提供や営業時間を工夫し、効率的な取り込みに努めますが、全体的な回復は見込めないため、約55%の達成率を計画としました。
宴会	利用件数 297件 利用人数 8,181人	感染症の影響を最も受けた部門であり、今後の見通しも立ちにくい状況ですが、感染症予防策及び衛生管理を徹底の上、顧客要望に応えられるように努めます。 件数で約26%、利用人数では約15%の達成率を計画としました。
法要	利用件数 75件 利用人数 787人	宴会部門同様、感染症の影響を大きく受けた部門となっています。感染症予防策及び衛生管理を徹底した上、デリバリーや持ち帰り膳の販売など、商品、販売方法を工夫し、受注に努めます。 件数で約38%、利用人数では約25%の達成率を計画としました。